## ① 全国米・食味コンクールで金賞

11月23日・24日の2日間、宮城県七ヶ宿町で「第15回米・食味分析鑑定コンクール」が開催されました。栽培別部門の水田環境特A部門で、真室川町こだわり米生産組合の齋藤賢人氏（釜渕１）の出品した「コシヒカリ」が、金賞を受賞しました。過去にも町内生産者の方々が努力し、丹精込めて作られた米が同コンクールで、多数賞に輝いています。

## ② まむろがわ逸品展開催

11月22日（金）、イベントハウス遊楽館で、「まむろがわ逸品展」が開催され、平日の夜にもかかわらず多くの来場者で賑わいました。逸品展は、町内の特産品の作り手と直接会話をしながら、試食や購入が出来る人気のイベントです。今回はテーマを「贈る心」とし、各出展者から工夫を凝らした「まむろがわギフト」の提案がありました。

食生活改善推進協議会の郷土料理のふるまいや、県内有名店のシェフが作る真室川の食材を使った料理の試食に加え、新たな取組として買い手（バイヤー）向けの商品紹介の時間が設けられ、真室川ブランドを大いにPRしました。

## ③ 農カルチャレンジフォーラム開催

11月30日（土）、イベントハウス遊楽館で、真室川町６次産業化推進大会「農カルチャレンジフォーラム」が開催されました。㈱鈴乃家代表取締役鈴木俊雄氏の講演に始まり、パネルディスカッション、ワークショップと多彩な催し物が行われ、６次産業化への盛り上がりを実感できた大会となりました。

## ④ 第10回真室川町学校新聞コンクール表彰式

12月７日（土）、真室川町学校新聞コンクールの表彰式がイベントハウス遊楽館で開催され、町内の小中学校関係者が表彰されました。真室川新聞販売所創立60周年となる今年は、コンクールも第10回の節目ということで記念コンサートも行われ、美しいバイオリンとピアノの演奏が披露されました。

## ⑤ ふれあい民食

12月10（火）、民生委員・児童委員と食生活改善推進員の方々が中心となり、ふれあい民食訪問が行われました。町内の一人暮らし高齢者等の対象世帯を訪問し、温かい炊き込みご飯、真室川中学校と高校生ボランティアの生徒が作成したメッセージカード等を手渡しました。食べ物だけでなく、温かい気持ちも届ける訪問となりました。





## ⑦ 交通安全県民運動

12月１日～10日までの期間、「冬の交通安全県民運動」が行われました。

６日（金）には、交通安全関係団体の皆さんが、飲酒運転撲滅を呼びかけるチラシの配布や、町内飲食店に交通安全母の会で作成した啓発物の配布を行いました。

## ⑥ 平成２５年度除雪安全祈願祭

12月２日（月）、除雪安全祈願祭が真室川町除雪ステーションで行われました。町道166kmを計画道路とし、除雪機械19台、オペレーター32名体制で町道の除雪作業にあたります。

## ⑨ 将来に繋ぐ郷土料理教室

11月29（金）、健康管理センターで、若いお母さん方へ郷土料理を伝えるための料理教室が開催されました。食生活改善推進協議会推進員が講師となり、昆布巻きや大黒なますなど正月料理を学びました。

## ⑧ 北部小ペットボトルキャップ贈呈

11月29日（金）、真室川北部小学校ハッピースマイルボランティア委員会が、全校と地域の人と協力してキャップを集め、山形銀行に贈呈しました。その後、施設内を見学して、銀行の仕組みを学びました。

## 各種大会結果

**県高校新人陸上大会**
- 男子砲丸投げ　髙橋　光　第１位
- 男子円盤投げ　髙橋　光　第１位
- 男子やり投げ　浅沼　恵太　第２位

**県高等学校新人柔道大会**
- 女子個人78kg超級　髙橋　柚貴　第２位

**全国高等学校柔道選手権大会山形県予選大会**
- 女子団体　真室川高校　第３位（近藤麻未、髙橋柚貴）
- 女子個人57kg級　近藤　麻未　第３位
- 女子個人無差別級　髙橋　柚貴　第３位

髙橋柚貴さん　近藤麻未さん

## 町長コラム

### 復興の街

12月８日石巻市に行く。報道では復興が遅れていると言う事しかわからなかったが、大震災が発生した時に訪れた時と比較すれば、まだまだ足りない状況ではあるのだろうが、私としては見違えるような光景が続いていて本当に良かったなーと感じた。

一部ではまだ震災の爪痕がみられる個所もあったが順次改善されていくのではないかと感じられるのは、手前まで改善されてきていたからである。

物産交流している女川町「華夕美」に宿泊する。被災時２階まで海水が入り大変だったが綺麗に改修されていたので安心して、女川港でとれた新鮮な海産物をご馳走になる。クジラの刺身が名物とのことで久しぶりの味であった。

朝食はバイキングで、生産高日本一のサンマを女将が焼いて提供していて久しぶりの再会であった。接待、サンマ焼き、食器のかたづけ、食道前の売店と何役もこなしている。震災前とはいかないが、徐々に良くなってきていると聞いてほっとする。寒くなってきて大変だろうが、豊漁と共に町が元気になっていくことを願い楽しい一時を過ごした女川町を後にした。

真室川町長　井上　薫